

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



# 学校だより

No. 8 さいたま市立神田小学校  
令和4年 11月30日発行 Tel (853) 4377  
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

## 「努力はたし算 協力はかけ算」

校長 米玉利 優子

2022年も残り1ヵ月となりました。今年は「努力はたし算 協力はかけ算」という言葉を痛感した1年でした。小さな努力でも、それを続けていけば、たし算の答えのように大きくなっていきます。努力は、積み重ねていくもの。たして積んだ分は、決して消えることはありません。そして、一人ひとりの努力に、協力が加わるとかけ算のように大きな成果が得られます。3人が2ずつ頑張れば、 $2 \times 2 \times 2$ で8になり、たし算より大きな結果となります。本校はまさに、このかけ算の1年でありました。

運動会や音楽授業参観に向けて日々努力をし、協力して発表した子どもたちの輝く瞳。校外学習や宿泊学習等で声をかけ合い、皆で笑い合う姿。日々の授業の中で、自分と友達の考えを比べて新たな気付きをし「〇〇さん、すごい！」と言って進んで学習に取り組む姿、あいさつ運動をして、明るいあいさつを広めようと努力している代表委員…一人ひとりが輝いていました。もちろん、学校内だけではなく。校庭の側溝掃除や草取りをしてくださった校庭開放団体の方々や保護者の皆様、放課後・土曜チャレンジに参加する子どもたちが楽しめるように考え実施してくださっているの方々、暑い日も雨の日も、子どもたちを見守ってくださる地域の皆様、道路で転んだ子どもの家に連絡をし、そばについてくださった方…人と関わることを大切にし、自分ができようことを考え動いてくださる保護者や地域の皆様に支えられている子どもたちは、大人の背を見て学び成長しています。

神田小学校には、外国から転入し日本語がまだうまく話せない友達もたくさんいます。もし、私が異国に行き、このような状況だったらと考えると…本当によく頑張っているねと心から声をかけたくなります。「大丈夫?」「わかる?」「雑巾はこうやるんだよ（と一緒に雑巾がけをして笑い合っていました）」言葉が通じなくても友達を大切にしている子どもたち。この姿こそが、これからの国際社会を生きる人間の姿だと感じ、改めて誇りにも思いました。国や性別、肌の色など関係ありません。大切なのは、「人を思う気持ち」と「自分は何ができるかと考え動ける力」なのだ、子どもたちに教えてもらいました。これこそが、かけ算を生む心なのだと思いました。

来年も、「自分ぐらいやらなくてもいいや」「誰かがやってくれればいいや」という「0」の人に私がならないように、そして、誰かの役に少しでも立てる2の人になり、皆に声をかけ協力できる3の人になれるよう、努力と協力を積み重ねていきたいと思えます。一人ひとり小さな力でも、その力を結集すれば一人ではできないこともできるようになります。そして、その喜びや感動をこの神田小学校に関わる多くの皆様と共有できる2023年にしたいと強く願います。今月も保護者の皆様、並びに地域の皆様には、変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、少し早いですが、2023年も皆様にとって、素敵な1年となりますように心からお祈り申し上げます。

どうぞよいお年をお迎えください。